

まるもり 議会だより

Miyagi Prefecture
Marumori Town Assembly
News

第272号



2025. AUG
令和7年8月1日

発行 宮城県丸森町議会
編集 議会広報常任委員会



明日の町政の主演は私たち（丸森中学校模擬議会）

（表紙のことば …… 20ページ）

6月議会

中学生の視点で町政を問う	2 ページ
議会懇談会～新たな取組に高まる関心～ …	4 ページ
にぎわい実現に一歩前進	6 ページ
一般質問 8人の議員が町政を問う	8 ページ
議会の要望に町長が回答しました	18 ページ



丸森町公式キャラクター
ねこがみとうぐいすP

中学生の視点で町政を問う

令和7年度 明日の丸森を考える丸森中学校模擬議会 3年生66名と議員・町長・教育長が議会に臨む



相談役：小野華音議員・杉澤真理議員

第1部②八巻 愛奈 議員
商業施設の充実
問 町民の生活をより便利にするためファミリーレストラン、100円ショップ等誘致する取り組みを行う考えはあるか。
答 具体的な計画は。民間業者は新しい店を出店する場合には、ターゲットとする顧客がどのくらい住んでいるか、採算性などを考え店舗展開している。
誘致運動をまちに働きかけていく。



相談役：荒千里葉議員・渡邊楓羽議員

第2部①菅野 美優 議員
中高生も楽しめる公園を
問 現在の公園は遊べる場所が限られ、交流の場としても活用しづらい。
地域イベントやベンチ等で自由に遊べる広場や、SNS映えるスポット設置を検討してどうか。
答 丸森町MIZBESテーションには、芝生公園やレストラン、勉強もできるフリースペース等が予定され中高生が自由に遊べる広場になりえる。
SNS映える場所は民意を取り入れ検討する。



相談役：加川陽斗議員・穴戸 碧議員

第2部②大西 晃成 議員
阿武急の利便性向上を
問 阿武急急行は通学や通勤に重要な乗り物なので、運行ダイヤ等、利便性を高められないか。
また、定期割引を継続拡充する考えは。
答 阿武急は福島駅前でJR線に乗り入れて運行しており、増便やダイヤの見直しは限られた中で最大限行っている。
通学定期券購入に最大3分2を補助しているが、町外からの通勤通学者への補助も、議会として検討の余地はあると思う。



(開会進行) 芳賀慎太郎さん



丸森中学校3年生が議員役となって、議会における政策決定過程を学ぶ模擬議会を7月2日に開催しました。
4人の生徒がまちの課題や活性化策について一般質問を行い、熱心に議論を交しました。



(閉会進行) 齋藤来輝さん



第2部 齋藤 颯太 議長



第1部 笠井 流空 議長



相談役：齋藤大斗議員・照井瑛心議員

第1部①平泉 皓識 議員
体育館への空調設備を
問 体育館にエアコンが設置されておらず、授業や部活動では非常に暑く、熱中症のリスクが高まっている。また、設置することで学習環境の向上も期待される。エアコンの設置に向けた見解は。
答 学校では、さまざまな熱中症対策に取り組んでいる。早急な対応は難しいが、避難所にも指定されており、国の助成制度等の活用も視野に、移動式エアコンの設置も含め前向きに検討していく。



宮本 夢さん(2組)
まちが活性化するように、SNSで丸森町MIZBESテーションを発信して、未来の丸森町につなげたい。



幅 柊馬さん(1組)
議会を開催するには長い工程があるのを知りました。
まちと議会に若者の意見を十分に取り入れてほしい。

模擬議会インタビュー

議会懇談会

新たな取組に
高まる関心

議会懇談会を開催

議会懇談会は、開かれた議会及び議会活性化の一環として、議会報告を行い町民との意見交換を行う貴重な機会です。

今年は、5月21日、22日及び26日の3日間、各地区まちづくりセンターと伊手

コミュニティセンターの9会場で開催しました。

令和7年度の町の予算の概要と議会から町に提出した予算に関する要望事項について説明した後、議会に対する意見要望を出してもらい意見交換を行いました。

懇談会で出された意見要望は、議会の各常任委員会において対応を検討し、議会だよりや各地区の広報紙の紙面で対応状況をお知らせいたします。

議会懇談会出席者状況

開催日	地区（人数）
5月21日(水)	金山(18人)
	館矢間(21人)
	伊手(10人)
5月22日(木)	筆甫(11人)
	小斎(17人)
	大張(42人)
5月26日(月)	丸森(18人)
	大内(11人)
	耕野(14人)
出席者総数	3日間 合計 162人



大張まちづくりセンター

主な意見・要望

●議会に対する意見・要望

【議員のハラスメント】

議員の中でパワハラと受け取られるような言動があったことについて、襟を正すべきではないか。今後はハラスメントがないように勉強会などしてほしい。

●町政一般に対する意見・要望

【農業振興ビジョン】

第二次丸森町農業振興ビジョン生産目標額55億円は、一時的に達成できても継続不可能だと思う。山間部に適したビジョンが必要ではないか。

【施策投資の今後】

かわまち交流センター、八雄館、旧耕野小学校等の施設に多額の費用をかける予算だが、維持費や投資回収は見通しているのか。

【工場団地への企業誘致】

金山工場団地への企業誘致は進んでいるか。東京や名古屋だけでなく、地元の企業に工場増築などを提案しているのか。アプローチが間違っているのではないか。

【空き校舎活用の予算内訳】

旧耕野小学校の改修予算3億5000万円の財源は国庫補助金、過疎対策事業債をあてるとなっているが、内訳はどうなっているか。他の空き校舎活用にも応分の予算を付けることができるのか。



伊手コミュニティセンター



小斎まちづくりセンター

議会懇談会インタビュー

佐藤 忠吾 さん
(大張地区)

議会懇談会には、ほとんど毎回参加しています。

参加者の質問や意見を聞くだけでも勉強になります。

議員のみなさんの話を聞くと勉強して頑張っているのがわかります。これからも頑張ってください。

有意義な懇談会ですのでこれからも継続してほしい。今回もいい懇談会でした。



にぎわい実現に一歩前進

6月議会のあらまし

6月議会定例会は、6月11日から13日まで開催しました。

主な議決内容

◆報告

4件

（一般会計繰越明許費 ※繰越計算書ほか）

◆承認

4件

（町税条例の一部を改正する条例ほか）

◆固定資産評価委員選任の同意

◆条例の一部改正 2件

（丸森町ふるさと応援基金条例ほか）

◆財産の取得 2件

◆工事請負契約の締結・変更契約の締結 10件

◆一般会計ほか1会計の補正予算

審議の結果、町長提案の議案等を、すべて原案どおり可決しました。

一般質問は8人の議員が行い、自らの考えを交え町長や教育長と活発な議論を行いました。

※「繰越明許費」とは

なんらかの理由でその年度内に支出の完了しない経費を、議会の議決を経て翌年度に繰り越して使用できる予算のこと。

議決結果の一覧はホームページに掲載しています。



主な補正予算

企業参入型果樹産地形成業務委託料に

330万円

丸森町農業振興ビジョン（第二次）の重点プロジェクトである、中山間地域における果樹産地形成プロジェクトを進めるにあたり、企業参入型果樹産地形成事業として、栽培品目や候補地となる農地の選定、企業誘致のための計画を策定する予算を承認したものです。まちでは、プロジェクトの推進に向けて令和7年6月2日に株式会社日本農業と果樹産地の形成に向けたパートナー協定を締結しています。

丸森町農業振興ビジョンは、ホームページに掲載しています。



財産の取得

児童生徒及び指導者用タブレット端末を購入

3509万円

小中学校の児童生徒及び教員が使用しているタブレット端末については、耐用年数に達していることから、今後も児童生徒の授業に有効に活用するため、495台を購入することについて承認しました。令和8年度にも274台を購入予定で、すべての端末が更新となります。



タブレットを活用しながら授業に臨む生徒（丸森中学校）

工事請負契約の締結

丸森町水防センター

建設工事

【建築】

契約業者

橋本店・本田組特定建設工事共同企業体

契約金額

9億2950万円

【電気設備】

契約業者

窪田電気工事・中村電気工事共同企業体

契約金額

2億4640万円

【機械設備】

契約業者

ホシナ・ハヤシ住設特定建設工事共同企業体

契約金額

1億7600万円

旧耕野小学校改修工事

【建築】

契約業者

株式会社伊藤工務店

契約金額

1億4410万円

【電気設備】

契約業者

窪田電気工事株式会社

契約金額

1億2650万円

中心市街地活性化

拠点施設新築工事

【建築】

契約業者

株式会社春日部組

契約金額

1億4300万円

【電気設備】

契約業者

窪田電気工事株式会社

契約金額

6270万円

予定価格5000万円以上の工事請負契約は、議会の議決が必要。このほか、3件の工事請負変更契約を原案どおり可決しました。

丸森町議会ハラスメント調査特別委員会報告

ハラスメントに値する行為があったと認めざるを得ない

令和6年12月の新聞報道以降、議会では全員協議会において当該事案についての対応策を協議し、7年2月の臨時議会において「丸森町議会ハラスメント調査特別委員会」を設置し、調査を行ってきました。

7回の特別委員会のほか、新聞報道のあった議員による職員へのハラスメントと思われる行為について、職員アンケートを行いました。職員の個別聴取、当該議員及び当該職員への個別聴取も行い、特別委員会の総括として、窓口において大声で怒鳴ったという事実から、ハラスメントに値するような行為があったと認めざるを得ないと判断しました。

調査結果報告書はホームページに掲載しています。



辞職勧告決議案を可決

ハラスメント調査特別委員会の調査結果報告後、動議※がだされました。

議員6名連名による、海川正則議員に対しての議員辞職勧告決議案※で、起立採決の結果、賛成多数で可決しました。

※「動議」

主に議会の進行や手続きに関して議員から議会に対して行われる提議で、議会の議決が必要なものをいいます。

※「議員辞職勧告決議」

不祥事などで公職の身分にふさわしくないとされる人物に対しての議会の意思表示です。

自発的な辞職を促すもので辞職しなくても法律上の問題はありません。

議会を傍聴して ひと言

館矢間地区

武田 正成 さん



議会傍聴は2回目ですが、たまたま、議会ハラスメント調査特別委員会の報告と議員辞職勧告決議を傍聴することができました。8年前の出来事のようにですが、議員の良識に期待したいです。

館矢間地区

佐藤 瑞枝 さん



一般質問で旧大張小学校の利活用について取り上げていました。前衛美術家の宮城輝夫画伯の作品展示等、文化施設として活用するということ提案はとても良いことと共感しました。



わたなべ まさみ
渡辺 政巳 議員



一般質問動画

医療連携で命を守れ

町長 愛される病院を目指す

問① 少子高齢化では宮城県の先頭を行く丸森町にとって、移住定住を進める観点からも町民の命と健康を守ることは大変重要である。関連し3点を町長に問う。

町長 ①これからは広域医療連携を図り、町民の命と健康を守っていくことが重要である。本町は総合病院に囲まれており住居に近い病院に通う町民もいる。隣接病院や専門病院と連携を図り丸森病院では対応できない医療についてはそれぞれの病院に依頼できる医療ネットワークを構築すべきと考えるがどうか。

答① 仙南医療圏内の各医療機関と連携し、地域住民の健康維持に不可欠な医療を提供するとともに福島県内の医療機関とも、仙南医療機関と同様に相互連携体制の強化に努めることで県境を越えた医療の提供を図っている。

問② 町民の安心と健康を保つため、遠隔診療を実施すべきと考えるがどうか。

町長 ②オンライン診療により診療行為を行う場合は、原則として当該医師が責任を負うこととされており、かかりつけ医が対面診療も組み合わせて適切な診断及び処方を行う必要がある。対面診療の良さを生かした医療を提供していく。

問③ 病気の予防のためにテレビ電話等導入の考えは。

町長 ③今後予定している高齢者保健福祉計画等の各種計画の策定時に実施するアンケートにおいて、デジタル技術の導入に向けた意向を



町民の命と健康を守る丸森病院

調査するとともに近隣市町等におけるデジタル技術を活用した取り組み事例を参

考にしなが、更なる活用を検討していく。

一般質問

町政を問う

一般質問とは、町に対して事務の執行状況や将来に向けての考えをただすものです。今回は8人の議員が質問しました。

ページ	議員	質問事項と回答
9	渡辺 政巳	●医療連携で命を守れ 町長 愛される病院を目指す
10	鈴木 美智子	●学校の英語と防犯は 教育長 学力向上と安全を確保
11	中津川 かおり	●多様な教育インフラ確保を 教育長 できる範囲で対応
12	山本 明德	●難聴高齢者への支援を 町長 実態を把握する
13	大槻 正儀	●県道は町の大動脈 町長 整備を強く要望する
14	八巻 真由	●親子の笑顔を増やす支援を 町長 ゆとりある環境整備を進める
15	板橋 勇	●空家等対策計画を問う 町長 効率的な空き家管理に活用
16	大槻 孝雄	●宮城輝夫絵画の活用は 教育長 作品の展示中心で活用



多様な教育インフラ確保を

教育長 できる範囲で対応



なかつがわ
中津川かおり 議員



一般質問動画

問①運動誘発性食物アレルギーは、学童期以降の発症が多い。令和7年度の当初予算は、東日本台風被害からの復旧を経て、復興に向けたにぎわい創出のための投資であると理解した。

答 一般会計予算は122億6000万円。そのうち教育費の割合は約5%で、特別会計を含めれば、その割合は3・8%である。

こども全力応援宣言を掲げる本町で、未来ある子どもたちが安全に過ごし、保護者が安心できる教育インフラの整備が必要と考え、教育長の考えを問う。

問②町営学習塾オンライン化の実現見込みはあるか。

答 2学級の授業をオンライン化する事を考えている。町営学習塾をオンライン化するには多額の予算がかかることから、町営学習塾とは別の形でオンラインを導入したいと考える。

問③町営学習塾への入塾を年度途中でも認めることはできないか。

答 3年度途中からの申し込みも、通年継続して学習したいとの希望であれば、できる範囲で対応する。

問④子どもを送迎する問題の解決策として、あし丸くんの活用を周知してはどう



保護者送迎の車両と駐車場を共有する丸森小学校スクールバス

問⑤丸森小学校のスクールバス乗降場は、児童や駐車中の車両の安全面を考慮し、再検討をすべきではないか。

答 4学校の長期休業時等に塾に通う手段として有効と考え、保護者に対し、あし丸くんの利用を呼びかける。

問⑥現時点で移設は計画していないが、学校がどう考えているのかも話をしたい。

学校の英語と防犯は

教育長 学力向上と安全を確保



すずきみちこ
鈴木美智子 議員



一般質問動画

小中学校のグローバル化に対する英語教育や、防犯について教育長に問う。

問①国はグローバル化に対応した教育目標を、中学校卒業段階で英語検定3級程度以上としている。

答 それに向け本町の英語教育が充実していくと思うが、現在の英検取得状況は。

答 ①自身の外国語のレベルを認識し、更なる学力向上のため、検定受験を推奨し、小学校4年生から高校生の検定料を助成している。

令和6年度中学生以上の受験者数は42人で、3級以上の合格者は12人である。

問②異文化理解で台湾新北市の小中学校と姉妹校を提携した。令和7年度は台湾から生徒と保護者が来町し交流するが、台湾へ出向いての交流の参加者等はどうか。

答 5月に台湾から児童と保護者等18名が来町して田植えや蘭細工の交流活動を行い、グローバルな体験活動ができた。

問③立川市の小学校校舎内で男性2人による暴行事件があった。本町小中学校の防犯体制整備をどう考えているか。

答 ③各各学校に危機管理マニュアルを備えて定期的に



台湾からの児童、保護者、先生とのふるさと教育体験（大張棚田）

訓練を実施し、児童生徒への安全教育を行っている。警察や警備会社等と連携して安心と安全の確保に努める。

不審者等から子どもの命を守るため、見守り活動は効果の高い取り組みである。学校と保護者、警察や関係団体等と連携して子ども110番の家のボランティア活動の充実に取り組む。



おおつき まさよし 大槻 正儀 議員



一般質問動画

県道は町の大動脈

町長 整備を強く要望する

町内には、県が管理する国道2路線約30kmと県道10路線約70kmがある。県道は、まちと住民の大動脈であり、重要である。国道349号は、国交省直轄で災害復旧工事が行われ、令和7年度中の完成が公表されているが、ほかの県道は、議会でも整備要望をしているが進んでいない。県道行政について町長の考えを問う。

町内には、県が管理する国道2路線約30kmと県道10路線約70kmがある。県道は、まちと住民の大動脈であり、重要である。国道349号は、国交省直轄で災害復旧工事が行われ、令和7年度中の完成が公表されているが、ほかの県道は、議会でも整備要望をしているが進んでいない。県道行政について町長の考えを問う。

町内には、県が管理する国道2路線約30kmと県道10路線約70kmがある。県道は、まちと住民の大動脈であり、重要である。国道349号は、国交省直轄で災害復旧工事が行われ、令和7年度中の完成が公表されているが、ほかの県道は、議会でも整備要望をしているが進んでいない。県道行政について町長の考えを問う。



軽自動車の交差もままならない未改良県道（大張三河尻地区）

町内には、県が管理する国道2路線約30kmと県道10路線約70kmがある。県道は、まちと住民の大動脈であり、重要である。国道349号は、国交省直轄で災害復旧工事が行われ、令和7年度中の完成が公表されているが、ほかの県道は、議会でも整備要望をしているが進んでいない。県道行政について町長の考えを問う。

町内には、県が管理する国道2路線約30kmと県道10路線約70kmがある。県道は、まちと住民の大動脈であり、重要である。国道349号は、国交省直轄で災害復旧工事が行われ、令和7年度中の完成が公表されているが、ほかの県道は、議会でも整備要望をしているが進んでいない。県道行政について町長の考えを問う。

難聴高齢者への支援を

町長 実態を把握する



やまもと あきのり 山本 明德 議員



一般質問動画

町内には、県が管理する国道2路線約30kmと県道10路線約70kmがある。県道は、まちと住民の大動脈であり、重要である。国道349号は、国交省直轄で災害復旧工事が行われ、令和7年度中の完成が公表されているが、ほかの県道は、議会でも整備要望をしているが進んでいない。県道行政について町長の考えを問う。

町内には、県が管理する国道2路線約30kmと県道10路線約70kmがある。県道は、まちと住民の大動脈であり、重要である。国道349号は、国交省直轄で災害復旧工事が行われ、令和7年度中の完成が公表されているが、ほかの県道は、議会でも整備要望をしているが進んでいない。県道行政について町長の考えを問う。

町内には、県が管理する国道2路線約30kmと県道10路線約70kmがある。県道は、まちと住民の大動脈であり、重要である。国道349号は、国交省直轄で災害復旧工事が行われ、令和7年度中の完成が公表されているが、ほかの県道は、議会でも整備要望をしているが進んでいない。県道行政について町長の考えを問う。

難聴障害度質問票

Table with 4 columns: Question/Points, 4 points, 2 points, 0 points. It contains 10 questions about hearing difficulties and their impact on daily life.

合計10点以上 ⇒ 軽～中度の難聴の可能性
日常生活で時々聞こえない場面があります。
耳鼻科を受診し補聴器を検討しましょう。

合計24点以上 ⇒ 重度の難聴の可能性
日常生活で聞こえない場面が多くあります。
耳鼻科を受診し人工内耳を検討しましょう。

あなたの聞こえをセルフチェック（難聴障害度チェックHHIE-S簡易版）

至らない方が補聴器を購入する場合、購入費用補助制度の創設を三度求めるがどうか。
答④ 難聴は聞こえの程度により、軽度、中等度、高度、重度に区分される。聞こえにくさでの困難や補聴器購入を検討したことがあるか等の項目を入れたアンケート調査で実態を把握し検討を進める。

空家等対策計画を問う

町長 効率的な空き家管理に活用



いたばし
板橋 議員



一般質問動画

問① 令和7年3月に丸森町空家等対策計画が議員に配付された。町全体で調査対象636件のうち、空き家と判定されたのは431件と報告書にある。地区別空家件数は下記に示す表のとおりである。

これらの場所等を地図上に示したマップがあると思うがどうか。

答① 物件ごとに台帳を作成し、所在地、所有者、現場写真等位置図も作成している。

問② 議員には、位置図等開示できないのか。

答② 個人情報保護及び防

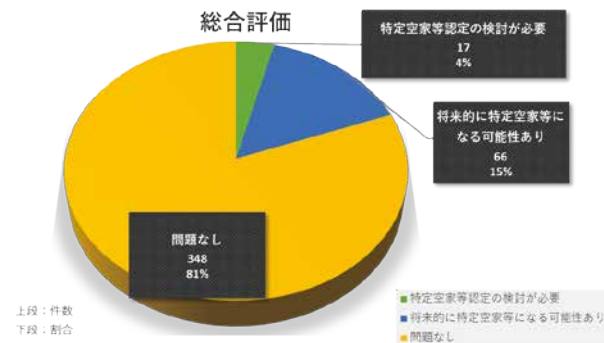
犯等の観点から公開していない。

問③ 令和元年の東日本台風により大きな被害を受けた町472億円被害、これらの復旧復興に国と県、町あわせて1000億円以上投下されたと報告されている。現在、寺沢川から直接放流管等の工事を始め、内水氾濫対策が進められているが、神明排水機場ほか、工事の進捗状況は。

答③ 雨水排水計画の見直しを行い、雨水ポンプ場の機能強化や山間部の雨水が流れ込まないようにするため阿武隈川への直接放流管を整備、神明南雨水ポンプ場の機能強化を図っている。

また、雨水ポンプ場までの流下能力を増強するための寺沢川の改築工事を進める。

各工事の進捗状況は、新設の神明南雨水ポンプ場は完了した。直接放流管は掘削工事が完了して内部仕上げ工事や取水施設と阿武隈



総合評価別地区割合

項目	丸森	金山	筆甫	大内	小斎	館矢間	大張	耕野	合計
特定空家等認定の検討が必要	5	0	4	5	0	3	0	0	17
将来的に特定空家等になる可能性あり	10	4	17	11	7	5	7	5	66
問題なし	87	24	52	52	28	45	38	22	348
合計（空家件数）	102	28	73	68	35	53	45	27	431

空家等と判定された431件のうち「特定空家等認定の検討が必要」が4%、「将来的に特定空家等になる可能性あり」が15%で、約20%を占める。

出典：丸森町空家等対策計画

川への放流施設の整備に着手し、全体完了は令和8年3月を予定している。

中心市街地を流れる寺沢川の改築工事は今年度から着手する。

今後も全体事業の早期完成に向けて全力で取り組んでいく。

親子の笑顔を増やす支援を

町長 ゆとりある環境整備を進める



やまき
八巻 議員



一般質問動画

子ども子育て支援事業計画の策定に際し令和5年に町が実施した保護者アンケートで、丸森町は子育てしやすいと感じると回答した保護者の割合は32・9%で、元年の同調査時32・5%からほぼ横ばいの結果である。

また、約半数の保護者が子育てに不安や負担を感じ、9割が経済的、時間的に余裕が無いと回答している一方で、94・5%が子どもと接することに喜びを感じていることから、本町が次に取り組むべきは保護者の生活にゆとりを生み出し、大切な親子の時間を育む環境

整備であると考え、町長に問う。

問① 本町は困った時に頼れる育児サービスが無い。地域内で子育てを支え合う制度であるファミリーサポートセンター事業の導入により、日常から緊急時まで幅広く子育て支援が可能になる、また地域全体で子育てをする環境づくりにも有効と考えるが、導入の考えは。

答① 子育てを地域で相互援助する活動であり、地域コミュニティ維持にも繋がる認識している。実現には課題も多いが、事業導入の可能性を慎重に検討する。

問② 町内保育施設では3歳から5歳の子どものみ毎日家庭から白米を持参し、冷たいごはんを食べている。食育面での懸念や衛生面、保護者負担も課題である。主食提供の考えは。

答② 3歳未満での入園も多く、保育内容の連続性や猛暑への対策を踏まえ、主食

提供について見直す必要があると考える。運営事業者とともに検討を進める。

問③ 保育施設でのおむつのサブスクリプション※導入により、保護者と保育士双方の負担軽減を図る考えは。

答③ 町内保育施設で紙おむつの定額利用サービスについて意見交換する予定と聞



全てに記名して毎日持参する紙おむつ

※おむつのサブスクリプション

一定の利用料を支払うことで、おむつとおしり拭きを利用できる定額制のサービス。保育施設等での導入が進んでいる。

いているため、今後の動向を見守る。



テクノロジー拠点ハイラボ。3Dプリンター等を無料で利用でき、学校へ通えない子どもの居場所にもなっている。

支出状況			単位：円
議員名	調査研修費	政務活動費	
八巻 眞由	51,366	51,366	

本町は10年後に人口が8000人になる予測から、現在同規模の自治体に消滅と持続の分かれ道は何かを学ぶため五城目町を訪問した。

廃校活用シェアオフィス、古民家リノベーションの宿泊施設、子どものテクノロジー拠点、医師が夫婦で開設した地域の居場所、越える学校をコン

セプトに地域に開かれた小学校等、10箇所を訪問。五城目町は、地域に根差した挑戦を土着ベンチャーと呼び、連携しながら数々の課題に取り組んでいた。

そしてみんな楽しそう。人口は減っても活動人口は増えている。それこそが、本当の持続性なのだと思う。

3月25日から26日 報告者 八巻眞由議員
秋田県五城目町

政務活動報告

宮城輝夫絵画の活用は

教育長 作品の展示中心で活用



おおつき たかお 議員
大槻 孝雄



一般質問動画

宮城輝夫画伯の絵画209点、蔵書2433点が平成15年町に寄贈された。現在、旧大張小学校に雑然と保管されている。これらは町の誇るべき文化遺産、宝として町内外へ発信利活用すべきと考える。

また、教職員の長時間勤務が大きな社会問題になっている。働き方改革に伴う部活動、少年スポーツの地域移行について教育長に問う。

問① 宮城輝夫画伯の寄贈品は、これまで5カ所の保管場所を転々としてきた。今後、町として文化遺産として、

答① 作者没後70年は遺族に著作権があり展示以外の活用ができず、文化的遺産として保管をしている。作品については修復含め、絵画専門家等から助言を受け管理する。当面は作品展示を中心として活用し、地域で開催されるオープンアトリエやワークショップ等への貸し出しなど協力していく。

問② 旧大張小学校の校庭一面に芝が植えられた。これを踏まえ町の文化拠点のひとつとして活用してはどうか。

答② 拠点と限定せず、町と地域双方にとって有益な利活用策の取りまとめに向け、後押しして行く。

問③ 町内の小中学校における部活動、少年スポーツの実態と教員の関わりはあるのか。また、地域移行につ

ての認識や保管方法等をどう考えているのか。

また、協力団体との連携をどう図っていくのか。

答③ 中学校の部活動は運動部が12部、文化部が2部、



オープンアトリエで展示された宮城輝夫画伯の絵画（旧大張小学校）

いはすでに大河原町が行っている。今後、町としての方針、準備をどう行っていくのか。

答③ 中学校の部活動は運動部が12部、文化部が2部、スポーツ少年団5団体で教員の関わりは部活のみである。これまで部活動地域移行推進会議等で課題の抽出を行ってきた。関係団体と話し合い検討していく。

議員の会議出席状況

令和7年4月～6月30日 ○：出席 ×：欠席 △：遅刻・早退 -：員外

月	日	公務名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
			八巻 眞由	中津川 孝雄	大槻 裕之	金森 明徳	山本 智子	鈴木 正儀	大槻 政巳	渡辺 修一	菊池 央	石井 正則	海川 勇	板橋 俊一	船山 吉市	佐藤 吉市
4	3	議会広報常任委員会	○	×	△	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
	10	議会広報常任委員会	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
	17	議会広報常任委員会	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
	24	議会懇談会実行委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	24	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	24	議会ハラスメント調査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-
5	7	議会ハラスメント調査特別委員会（聴き取り調査）	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-
	9	仙南地方町村議会議長会 監事会 議長会議	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
	15	議会ハラスメント調査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-
	21	議会懇談会（金山・館矢間・伊手）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
	22	議会懇談会（筆甫・小斎・大張）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	23	議会ハラスメント調査特別委員会（聴き取り調査）	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-
	26	議会懇談会（丸森・大内・耕野）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	27	町村議会議長・副議長研修会（東京国際フォーラム）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	×	○
	3	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
	3	議会ハラスメント調査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-
	4	丸森中学校模擬議会に向けた議会講座	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
	10	議会ハラスメント調査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-
	11	第4回議会定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	11	議会広報常任委員会	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
	12	第4回議会定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	12	議会七十年史編さん特別委員会	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	○	○
	13	第4回議会定例会	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○
	13	議会懇談会実行委員会	-	-	-	○	-	○	○	×	-	-	○	○	○	○
	25	仙南・亘理地方町村議会議長会視察研修（25日～27日）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
	30	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	30	第4回 除染廃棄物仮置場に関する調査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

議会の要望に町長が回答しました

令和7年度予算審査を通した議会要望への回答

英語力の習得

要望 国際化社会に向けて、語学力は重要なコミュニケーションツールである。ALTや国際交流を活かし、児童生徒が実践的な英語を修得できるように積極的に進めること。

回答 台湾の小中学校と姉妹校協定を締結しており、国際交流活動やオンライン交流を通して英語で会話ができる環境を整える。

税の収納率向上

要望 納税組合の存続支援はもとより、個人が納付しやすいように端末やコンビニなどの利用増加を図り、確実な収納に取り組むこと。

回答 納税組合を継続支援するとともに、口座振替、コンビニやスマホアプリ納付など、個人に合った納付方法が選択できるように周知し、収納率向上を図る。

阿武急の利用促進

要望 阿武隈急行線は、町の観光や住民の足として大変重要である。更なる利用促進に向けて取り組むこと。

回答 阿武隈急行線は、町民や観光客の移動手段として重要な公共交通機関であることから、沿線自治体や各団体等と連携しながら、更なる利用促進に取り組む。

空き校舎の利活用

要望 空き校舎は、住民と連携して地域の活性化に繋がるよう有効活用を図ること。

回答 旧小学校は各地区の貴重な資源であることから、地域の活性化につながるよう、早急に利活用に向けた方向性を示す。

防犯対策

要望 全国的に凶悪犯罪が多発している。防犯協会などの組織と連携しながら犯罪抑制のための取り組みを積極的に行うこと。

回答 防犯パトロールや特殊詐欺注意のチラシ配布等を行い、住民の防犯意識の向上を図るとともに、防犯灯の維持管理、防犯カメラの適切な運用も検討する。

丸森病院の体制充実

要望 丸森病院は医師と看護師の確保に引き続き取り組み、療養病床をはじめ町民が安心できる医療体制の充実に努めること。

回答 医師と看護師の確保で診療体制の充実に努める。また、地域包括ケア病床と療養病床を維持し、急性期後の医療と在宅復帰、在宅での生活を支える機能の強化を図る。

産出額55億円の達成

要望 第二次丸森町農業振興ビジョンに掲げる農業産出額55億円の目標達成に向けて、当ビジョンを着実に推進すること。

回答 農業者や農業関連機関、町民との協力と連携のもと、ビジョンに基づいた施策に着手し、取り組みを目標達成を目指す。

企業誘致

要望 金山工場団地が整備された。全庁挙げて企業誘致を実現すること。

回答 多くの企業情報を入手し、工場団地の紹介など、情報発信に努める。

また、町内事業者との関係強化を図るとともに、誘致に繋がる情報の入手に努め早期誘致を目指す。

道路整備計画の策定

要望 道路整備計画の見直しについては、地元との十分な協議を行い、策定作業を進めること。

回答 狭い幹線道路の解消や生活道路の整備、災害時の道路網寸断のリスク改善を目指し素案を策定している。経済発展や観光振興の実現を見据え、必要性、重要性、費用対効果など検討を重ね策定作業を進める。



夜間のパトロールで防犯意識向上（丸森地区防犯協会）



整備がすすむ町道中原線（小斎地区）



のれんが掲げられた阿武隈急行線丸森駅



旧大張小学校グラウンドへの芝植え



自然豊かで静かな空間で

耕野地区

森の中の小さな古本屋

店主

佐藤 浩昭さん
さとう ひろあき

築百年を迎える古民家の自宅で、8年前から小さな古本屋を営んでいる佐藤さんに、開店の動機や古書への想いを伺いました。

Q どんな想いで古本屋を始められたのですか。

A 古書には作者や出版した人の知識や思いが時代背景とともに表現されています。幼少の頃から本が好きで、本の面白さや想像する楽しさを皆さんに届けたいと思い、古本屋を始めました。

古民家と森の木々が醸し出す静かな空間で、ゆったりとした時間を過ごしていただけたら幸いです。

Q 蔵書はどのようにして揃えるのですか。また、古書の魅力を広める活動もしているとのことですが。

A 歴史から文学、食、絵本までさま

ざまなジャンルの本がありますが、県古書組合の市場（交換会）の度に揃えたり、地域の方からの買取で、現在5000冊を超える蔵書数です。読者にとっては値段的にも求めやすいので、古書の良さを広めるために、地域のイベントや仙台の古書祭りに定期的に出店し交流しています。

Q ご自宅ではロバを飼っているというのですが。

A 27歳になるジャムという名前のロバを飼っています。ロバを目当てに遠くから訪れてくれる方もいます。

Q まちや議会への意見を伺います。

A 河川防災ステーションを最大限活用し、まち活性化とともに防災研修会などを開催してほしいです。

（山本 明徳 副委員長）

次の議会は

9月2日(火)
午前10時 開会予定

●日程が変更になる
場合があります。



問い合わせ先
議会事務局 ☎0224-72-3038

スマホで議会が見られます

本会議の映像をネットで
ライブ中継しています

●一般質問は過去の録画映像を常に視聴できます。



丸森町議会中継

検索

表紙のこトバ

3回目となる丸森中学校模擬議会は、平成30年3月議会の一般質問において、議員が提言した子ども議会が令和2年2月6日に実現したものです。

この提言には、授業を通してまちづくりについて考え、意見交換し、ふるさとを愛する児童生徒を育み、定住人口の増加につなげたいという思いが込められています。

過去には、模擬議会の質問がサブグラウンドの整備につながったこともありました。

今回も中学生の視点での鋭い質問に感心しました。

（鈴木美智子 委員長）

議会広報常任委員会

委員長	鈴木美智子
副委員長	山本 明徳
委員	八巻 眞由
	中津川 あり
	大槻 孝雄
	金森 裕之